

努力事項解説 その2 (小学校特別活動)

児童が日常の生活や学習について目標を持って取り組めるようにするとともに、
自分の役割や働くことの意義の理解などが十分できるよう
適切な指導に努めましょう。

児童が日常の生活や学習について目標を持って取り組めるようにする、とは

学級活動の活動内容(2)の「ア 希望や目標をもって生きる態度の形成」の指導を適切に行いましょうということです。学習指導要領解説には次のように書かれています。

児童が自分に自信を持ち、現在及び将来の生活や学習によりよく適応し、自己を生かそうとする生活態度を育てることは重要である。また、いわゆる小1プロブレム、中1ギャップなどの集団の適応に関わる問題に対応するため、円滑な学校間の接続に配慮した指導も必要となる。

指導に当たっては、自分への気付きや自己決定を促す適切な情報・資料を提供するとともに、心の健康を増進し、健全な人間関係を醸成するなど工夫することが大切である。具体的には、学校生活への希望や願い、日常生活での目標の設定、不安や悩みの解消など学校生活への適応に関する内容、望ましい集団生活と自分の役割の自覚など集団への適応に関する内容、自己の理解を深め個性の伸長を図るなど自己を見つめる内容、意欲的、計画的な学習態度の形成に関する内容、土・日曜日などの余暇活動に関する内容などが考えられる。

(小学校学習指導要領解説特別活動編P.37 ア 希望や目標をもって生きる態度の形成)

実践のポイント

- その1 自分への気付きや自己決定を促す適切な情報・資料を提供しましょう。
- その2 心の健康を増進し、健全な人間関係を醸成しましょう。
- その3 入学、進級、卒業時に円滑に新しい生活になじめるように集団の適応に関する指導を確実にいきましょう。

具体的な内容は以下のとおりです。

- 1 学校生活への適応に関する内容
 - 学校生活への希望や願いを持たせ、それに向かって努力させましょう。
 - 日常生活の目標を設定させ、実践させましょう。
 - 不安や悩みを解消できるよう、支援しましょう。
- 2 集団への適応に関する内容
 - 望ましい集団生活と自分の役割の自覚について、考え、決めたことを実践させましょう。
- 3 自己を見つめる内容
 - 自己の理解を深め個性の伸長を図るよう、考え、決めたことを実践させましょう。
- 4 意欲的、計画的な学習態度の形成に関する内容
 - 意欲的に学習に取り組むことができるよう、考え、決めたことを実践させましょう。
- 5 土・日曜日の余暇活動に関する内容
 - 休日を有意義に過ごせるよう、考え、決めたことを実践させましょう。

自分の役割や働くことの意義の理解などが十分できるよう適切な指導に努めましょう、とは

学級活動の活動内容(2)の「エ 清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解」の指導を適切に行いましょうということです。学習指導要領解説には次のように書かれています。

日々の学級や学校の生活を維持するため、児童に清掃をはじめ当番活動に取り組ませている学校が多い。その際、与えられた役割を果たすという消極的な活動ではなく、当番活動の役割や働くことの意義などが十分に理解できるようにするとともに、学級や学校に貢献していることが実感できるように指導することが大切である。

これらの指導は、学級活動の授業時数を充てないで朝や帰りの時間、児童が当番活動を行っている時間などに行うことが中心となるが、学級活動においても適切に取り上げ、計画的に指導する必要がある。その際、清掃のほかにも、給食、日直、飼育、栽培などの当番活動や学校内外でのボランティア活動などの活動を具体的に取り上げた多様な指導方法を工夫することが大切である。

なお、低学年から所属する集団やみんなのために一生懸命働く経験を重視し、日常の積み重ねを通してキャリア教育の一環として働くことの大切さや意義を理解させていくことは、児童会活動における学校に寄与する活動などの充実につながるとともに、望ましい勤労観・職業観を育て、公共の精神を養い、社会性の育成を図ることにもつながる。また、道徳教育や学校行事の勤労生産・奉仕的行事、総合的な学習の時間などで行うボランティア体験などと関連させて指導することも大切なことである。

(小学校学習指導要領解説特別活動編P.38 エ 清掃などの当番活動等の役割と働くことの意義の理解)

実践のポイント

- その1 与えられた役割を果たすという消極的な活動ではなく、
当番活動の役割や働くことの意義などが十分理解できるように指導しましょう。
- その2 当番活動に取り組んでいることが、
学級や学校に貢献していることが実感できるように指導しましょう。

実践の内容

- 1 児童が実際に当番活動を行っている朝や帰りの時間に指導を行うことが中心となりますが、週に1度の学級活動の時間でも取り上げて、働くことの意義について考えさせたり、学校や学級に貢献しているということを実感させる指導を計画的に行っていきましょう。
- 2 清掃当番だけでなく、給食当番、日直、飼育当番、栽培当番なども行うようにしていきましょう。また、校内及び、校外でのボランティア活動も行っていましょう。
- 3 低学年から、所属する集団やみんなのために一生懸命働く経験を重視しましょう。
- 4 日常の積み重ねを通してキャリア教育の一環として働くことの大切さや意義を理解させていきましょう。
- 5 道徳教育や、学校行事の勤労生産・奉仕的行事、総合的な学習の時間などで行うボランティア体験などと関連させて指導しましょう。



次回は、中学校の「望ましい勤労観・職業観を育成するとともに、ガイダンスの機能を充実させ、生徒の学校生活への適応や人間関係の形成、主体的な進路の選択などができるよう指導・援助に努めましょう。」について考えていきます。

9月6日（金）頃アップの予定です。